

日本細菌学会第98回総会 優秀発表賞受賞者

(全133演題の中から、学術支援評価委員会が選出)

演題番号	氏名	所属	演題タイトル
1 P1-054	石川李津	慈恵医大・医・細菌学	APLICoT法の確立とヌクレオチド交換因子GrpEの必須機能の解明
2 P1-128	勇陽太朗	筑波大・理工情報生命・生命地球科学	Clostridioides difficile由来メンブレンベシクルの産生機構と免疫原性
3 P1-132	丸田ひかり	慶大・薬・生化学	Polyreactive IgA clones induced by specific commensals protect against pathogenic infections.
4 P1-133	生出紘夢	東薬・生命・感染制御	IFN誘導性GTPase GBP2によるLCV膜標的化機構
5 P1-145	山下和可奈	国立感染研・治ワク	合成生物学的手法を利用した抗菌ファージ製剤の開発
6 P1-146	前田愛子	北大・院・国際感染	イス腸管内での生存に重要なフルオロキノロン耐性大腸菌ST131遺伝子の同定
7 P1-159	佐々木祐子	長崎大院・医歯薬・口腔病原微生物学	Identification of nanaomycin A and its analogs as T9SS inhibitors in Porphyromonas gingivalis
8 P2-016	浦上彰吾	北大・生命科学院	MALDIグリコタイピング法による大腸菌と赤痢菌のO抗原解析
9 P2-029	小林桃子	阪大・院歯・微生物	ショットガンメタゲノム解析を用いたタイ小児の口腔細菌叢における薬剤耐性遺伝子の検出
10 P2-032	島玄太	京大・生命・統合生命	時系列因果探索によるPatescibacteria (CPR) の生態学的重要性の解明
11 P2-049	辰宮大翼	北大・院・保健科学	Chlamydia trachomatis(L2/434/Bu)の酸素分圧依存的な感染細胞適応機構においてミトコンドリアが果たす役割
12 P2-122	長谷川玄	金沢大・先進	ペア型受容体と細菌リガンドを介した宿主-病原細菌における共進化

※演題番号順